

発行人：飯山市長 石田正人
編集：飯山市役所総務部
庶務課秘書広報係
〒389-2292 長野県飯山市
大字飯山 1110-1
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-5990
インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iiyama.nagano.jp>
E-mail：kikaku@city.iiyama.nagano.jp

もくじ

新幹線飯山駅デザイン3案が提案・・・・・・・・・・2ページ
北陸新幹線北信広域建設推進協議会総会・・・・・・・・3
平成22年度飯山市表彰式・・・・・・・・・・4
中央橋梁替事業の概要を説明・・・・・・・・・・5
いいやま灯籠まつり開催・・・・・・・・・・6
信州デザインエシヨニキャンペーン「未知を歩こう。信州」・・・・8
飯山市長選挙のおしらせ・・・・・・・・・・11

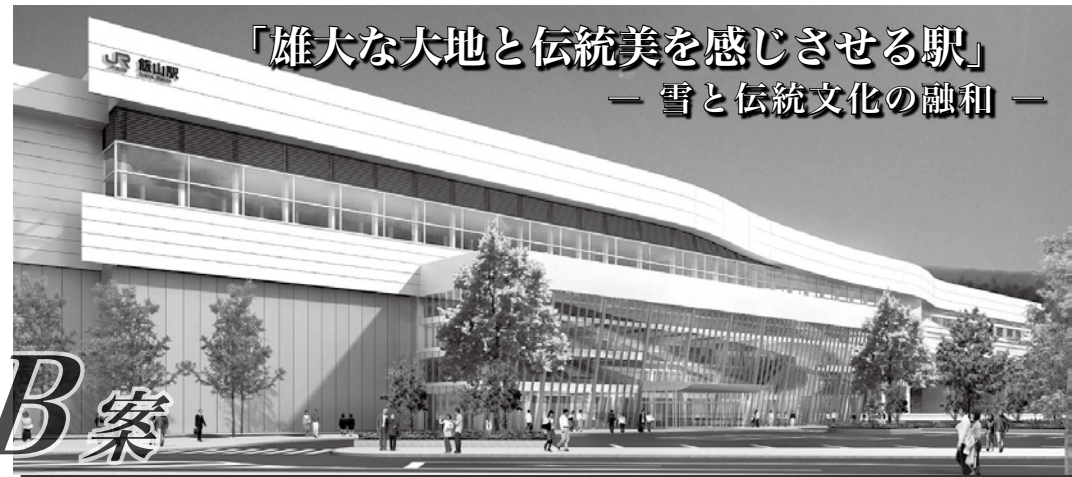
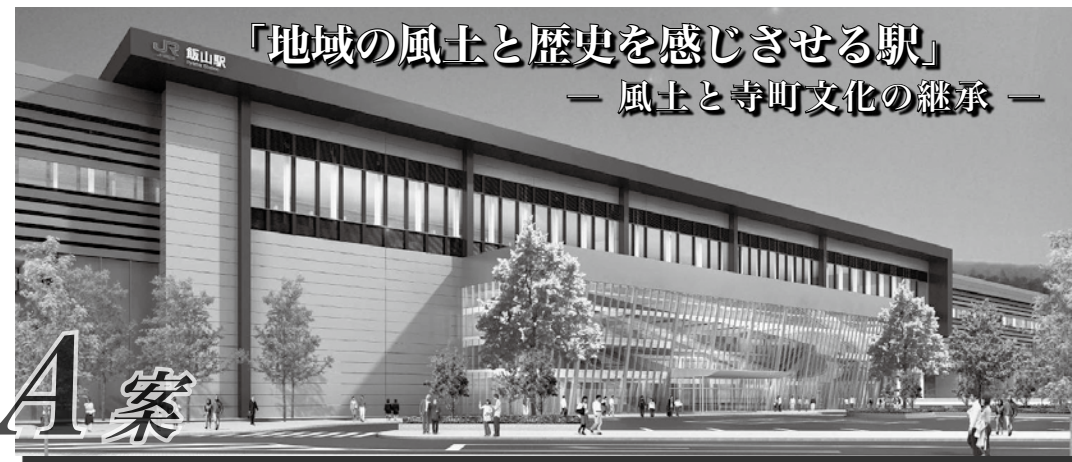
デザインコンセプトは「豊かな自然の懷に抱かれたやすらぎの駅」

鉄道・運輸機構から
新幹線飯山駅デザイン3案が提案

9月中には飯山市の推薦デザインを決定予定

8月10日、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構鉄道建設本部北陸新幹線建設局（以下鉄道・運輸機構）から市長へ、新幹線飯山駅のデザイン案3案が提案されました。この新駅デザインは、「豊かな自然の懷に抱かれたやすらぎの駅」をテーマとした「北陸新幹線飯山駅舎のデザインコンセプトについての要望書」（昨年10月提出）を基に、鉄道・運輸機構がデザインしたものです。A案は木の風合いによる落ち着いたデザイン、B案は雄大な山並みをイメージさせる緩やかな曲面を使った圧迫感のないデザイン、C案は近代的で未来をイメージさせるデザインをテーマとしており、どれも北信州の玄関口となる飯山の駅にふさわしい外観となっています。3案のうち、飯山市からの推薦案選定にあたっては、市民の皆さんにご意見を伺いながら、9月中には決定する予定です。

※北陸新幹線飯山駅舎のデザイン（案）は、飯山市ホームページでも公開しています。



北陸新幹線北信広域建設推進協議会総会

「新幹線飯山駅での全列車停車への配慮」などを決議

7月23日、北陸新幹線北信広域建設推進協議会総会（会長・石田飯山市長）が、北信地域各市町村首長や議会代表者、民間、行政、経済、観光関係各団体代表出席のもと開催されました。

会議では、事業計画などの議案が審議され、第5号議案では、協議会の決議案として、「大阪までの整備方針の明確化と早期の全線整備」「北陸新幹線飯山駅での全列車停車」などが提案され、全会一致で可決されました。

議事終了後、北陸新幹線建設局の木村局長より、北陸



新幹線工事の現状と今年度以降の工事などの予定について、飯山市より、飯山駅周辺整備の取り組み状況がそれぞれ説明されました。その内、新幹線駅周辺整備の説明では、土地区画整備事業での家屋の移転や道路築造の進捗状況、JR飯山線飯山駅の移設工事や新幹線駅西地区の整備事業など、関連事業スケジュールなどが示され、平成26年度、長野・金沢間開業に向けての具体的な計画予定が提示されました。また、来賓祝辞では、宮本県議会議員より広域連携強化を呼びかけるあいさつ、長野県の堀内建設技監からは、今年度1700億円（前年比42パーセント増）の北陸新幹線関連予算についてや、中央橋梁け替えなど、新幹線飯山駅へのアクセス道についてそれぞれ説明とあいさつが行われました。

なお、総会終了後、久保田JR長野支社長より「信州DCと今後の観光のあり方について」と題して講演会が行われました。

新幹線駅周辺整備関連事業スケジュール（平成22年7月現在）

関連事業名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
JR 飯山線飯山駅移設事業	設計協定締結	詳細設計	施行協定締結	土木・軌道・建築・機械・電気工事	長野～金沢開業
駅西地区整備事業	駅西線築造	詳細設計	用地取得	道路築造工事	
西口広場・平面駐車場整備	基本設計・用地測量	詳細設計・用地取得	造成整備工事		
立体駐車場整備	基本設計・用地測量	用地取得	用途変更	詳細設計	確認申請
新幹線駅舎合築施設整備事業	基本設計	詳細設計	調整作業・確認申請等	建築工事	

市長の

悠久のふるさとづくり ②③

飯山市長 石田正人



実家から離れて暮らしている若者も、お盆には帰省し、お墓参りに行ったり、同級会などで交友を深めながら、想い出話をすると思います。その中でまた新しい事が始まるきっかけとなる事も多く、人生が変わることもあります。

盆休みになると、昆虫を追いかけたり小川で小魚を捕まえて歓喜している子どもの声が聞こえてきます。そんな姿を見る時、昔を思い出す人もおられると思います。

ブルも無い時代、夏は千曲川で泳ぎました。川には親も先生もいませんが、上級生が教師であり親がわりでもありました。初めて千曲川を横断する小学校2・3年生は不安な気持ちでいますが、5・6年生の兄さん達は、皆を安心させ勇気と自信を持たせるために「できるだけ川上まで行き流れを使つて進め」などと自分の経験を話したり、自分がいるので大丈夫と言い、いざ横断となると、川下にはしっかり先輩が陣取ってくれていました。犬かきや横泳ぎ、平泳ぎで一生懸命で対岸に泳ぎ着くと、その達成感に今までの自分より大きくなった事を実感できたと思います。

こんな夏の経験やふるさとでの体験が、人間社会に欠かすことのできない絆となり、悠久のふるさとを守り、地域の環境や特性を活かした知恵を私たちに授けてくれていると思います。思えば故郷は、たくさんの想い出と生きていくための全てを私たちに教えてくれました。「文化が発展した」「時代が変わった」「そんな事は昔の事」などと言つ人もいますが、先人の知恵と努力で築きあげられた「生きていくための術」を今自分たちが利用して暮らしている事を忘れてはいけません。おかげさまで、飯山市の6か年にわたる過疎計画案が策定され、新幹線飯山駅開業に照準をあわせた、新しい活力ある「悠久のふるさと飯山」実現に実行あるのみとなりました。そんな飯山を実現させるためには、飯山で育ち、飯山を育み、飯山を充分に知る者こそ本当の宝であると思います。